

沖縄県知的障害者福祉協会

令和8年度
サービス管理責任者 実践力向上研修
開催要綱

～AIを活用した個別支援計画・モニタリング・チームマネジメント～

1. 趣旨

サービス管理責任者には、個別支援計画の作成やモニタリング、関係機関との連携、職員育成など、多岐にわたる役割が求められています。

一方で、記録業務や書類作成、情報整理に多くの時間を要し、本来重視すべき利用者との対話やチームづくりに十分な時間を確保できないという課題も生じています。

近年、AI技術の進歩により、文書作成や情報整理、記録要約などの業務を効率化することが可能となりました。AIは単なる業務効率化のためのツールではなく、支援の質を高め、チームで考える時間や利用者と向き合う時間を創出するための有効なパートナーとなり得ます。

本研修では、サービス管理責任者がAIを活用しながら、個別支援計画の作成、モニタリング、ケース会議の充実、チームマネジメントなどの実践的なスキルを学び、現場で活用できる具体的な方法を習得することを目的として開催します。

2. 研修名

サービス管理責任者 実践力向上研修
～AIを活用した個別支援計画・モニタリング・チームマネジメント～

3. 主催

沖縄県知的障害者福祉協会

4. 講師

福祉現場向けAIアドバイザー
社会福祉法人海邦福祉会 理事長

知念 隆生 氏

5. 開催日程

【導入編・基礎編】

令和8年8月13日(木)
10:00～16:30
(受付 9:30～)

【実践編】

令和8年10月13日(火)
10:00～16:30
(受付 9:30～)

6. 会場

読谷村地域振興センター
大会議室A

7. 研修内容

【導入編・基礎編】

(1) サービス管理責任者業務とAI活用の可能性

(2) 個別支援計画作成の効率化

- ・アセスメント情報の整理
- ・計画書作成支援
- ・目標設定の支援

(3) モニタリング・ケース記録業務の効率化

- ・記録の要約
- ・情報分析
- ・支援内容の整理

(4) ケース会議・支援会議の質の向上

- ・議論の整理
- ・会議記録作成
- ・チームでの情報共有

【実践編】

(1) チームマネジメントと人材育成

- ・職員の強みの把握
- ・育成支援
- ・チームづくり

(2) 現場課題に応じたAI活用

- ・実践事例の紹介
- ・課題整理と活用方法の検討

(3) AI活用ワークショップ

- ・実際の業務課題を題材とした演習
- ・プロンプト作成演習
- ・現場導入に向けた計画づくり

8. 対象者

障害福祉サービス事業所等に勤務する

- ・サービス管理責任者
- ・管理者
- ・主任、リーダー職
- ・今後サービス管理責任者を目指す職員

9. 定員

30名

※定員に達し次第締め切ります。

10. 受講料

協会会員 20,000円／名

協会準会員 25,000円／名

非会員 35,000円／名

※導入編・基礎編・実践編を含む全日程の受講料です。

11. 申込方法

チラシ記載のQRコードまたは申込フォームよりお申し込みください。

12. 持参物

- ・ノートパソコン
- ・筆記用具
- ・その他必要な資料

※実践的な演習を行うため、パソコンをご持参ください。

13. その他

(1) 導入編・基礎編・実践編を通して受講することで、より効果的に学ぶことができます。

(2) 受講決定後の詳細案内は別途通知します。

(3) 研修内容は一部変更となる場合があります。

以上